

学校名	海陽町立穴喰小学校
授業者	富田 真知子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「豊かな自然 海の生き物」観察・保護活動

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

【保全活動】サンゴの生態や保全の必要性について話を聞く。→メッセージと共に稚サンゴを水中ボンドで自然石に固定し、ダイバーに渡す。→海底に設置したサンゴを観察する。

【観察】海洋プランクトンについての学習、釣り活動やシーカヤック活動を通して、海の生き物を観察する。



1-5. 単元設定の理由・ねらい


釣り活動やシーカヤック活動、海の生き物の観察を通して、穴喰の海を大切にすることを育む。また、サンゴの移植の保全活動などの体験を通して、海の環境保全に主体的に関わり、自分たちが住んでいる地域の自然環境について学習を深める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) さまざまな海の活動を通して、宍喰の海の生き物やその素晴らしさを再確認する。
- (2) サンゴの移植の保全活動体験を通して、地球温暖化や海の環境について考える。
- (3) 釣り活動やシーカヤック活動、プランクトンの観察を行い、様々な海の生き物に興味・関心を持ち、未来に残していくために自分たちにできることを考える。

1-7. 単元の展開 (全12時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	【海洋プランクトンの観察】	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の説明をする。 ・観察時、机間指導をしながら支援を行う。 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味を持ち、多くのプランクトンを知るために観察することができている。/主体的に学習に取り組む態度（観察） <p>【外部連携】</p> <p>中島茂範 氏(牟岐少年自然の家 海洋環境学習アドバイザー)</p>
3	<p>【竹ヶ島海域公園自然再生活動(サンゴの移植体験)】</p> <p>(1)サンゴの生態について知る</p> <p>(2)稚サンゴを水中ポンドで自然石に固定する</p> <p>(3)ブルーマリンから海底に設置されているサンゴを見る</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程の説明や安全面について指導する。 ・安全に作業できるように注意を払う。 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンゴの生態を理解することができる。 ・進んで作業に取り組むことができている。/主体的に学習に取り組む態度（観察） <p>【外部連携】</p> <p>岩瀬文人 氏（四国海と生き物研究会） 海洋自然博物館マリンジャム，海陽町役場産業振興課，宍喰漁業協同組合</p>
5	【釣り活動とシーカヤック活動】	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程の説明や安全面について指導する。 ・安全に活動できるように注意を払う。 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して進んで安全に活動することができている。/主体的に学習に取り組む態度（観察） <p>【外部連携】</p> <p>海洋自然博物館マリンジャム職員</p>

<p>1</p>	<p>【海藻と藻場と穴喰の海の現状の講話】</p> 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藻場が少なくなっている原因や海に栄養を与える取り組みなどを知ること、地球温暖化について調べたり、自分たちにできることはないか考えたりできるように働きかける。 <p>【外部連携】 岩瀬文人 氏（四国海と生き物研究会）</p> <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藻場が減少する原因や穴喰の海への影響，行われている取り組みを理解するために積極的に学習している。/主体的に学習に取り組む態度（観察・ワークシート）
<p>3</p>	<p>【豊かな自然 海の生き物の学習のまとめ】 穴喰の海の生き物について調べたことを絵や文章でまとめ交流する。</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすくまとめられるよう助言する。 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴喰の海の生き物について調べたことを，ICTを活用して写真や文章で分かりやすくまとめている。/知識・技能（観察・データ）

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2. 本時の目標

地球温暖化が与える海やサンゴへの影響やサンゴの生態を理解し、友達と協力しながらサンゴの移植活動に取り組むことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 めあての確認</p> <p>2 講師からサンゴの生態や竹ヶ島海中公園の環境についての話を聞く。</p> 	<p>○本時のめあてを提示する。</p> <p>○学習の流れを提示する。</p> <p>○講師の紹介と話の聞き方等について説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の変化が与える生き物への影響を知り、自分たちの生活で見直せることはないかを考えさせる。 <p>評価 サンゴの生態や環境問題等について理解するために質問し、積極的に学習している。/主体的に学習に取り組む態度（観察）</p>
<p>3 サンゴの移植活動を体験する。</p> 	<p>○サンゴの移植活動の流れの説明し、安全面で気を付けることを指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稚サンゴを傷つけないよう水中で素早く作業させる。 ・ライフジャケットを着用させ、安全に作業できるように見守る。 <p>評価 進んでサンゴの移植活動に取り組んでいる。/主体的に学習に取り組む態度（観察）</p>
<p>4 振り返り</p>	<p>○活動して感じたことを発表し合い、宍喰の海やサンゴの状態を確認させる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・海陽町竹ヶ島の海は、エダミドリイシサンゴが生息できる環境であることや、地球温暖化の影響を受けてサンゴが減少しているという状況であることを知った。
- ・たくさんの人々がエダミドリイシサンゴ保全活動に取り組んでいることも知った。
- ・竹ヶ島の海的环境、サンゴの生態、保全活動に取り組む方々の思いを知ることやエダミドリイシサンゴを移植する体験を通して、海陽町の宝の一つである豊かな海を自分たちで守っていくという意識を高めることができた。
- ・いろいろな生き物が生息することを知ったり、海の活動の楽しさを体で感じたりすることを通して、穴喰の海の素晴らしさを再確認することができた。



4. 今後の課題

- ・地球温暖化と海の変化やそれに伴って起こる生き物の暮らしの変化など、環境問題について調べることを継続して行う。
- ・環境保全のために自分たちにできることを他教科と連携しながら考え、取り組んでいく態度を育成していく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし。